

---

平成27年度  
五所川原市民討議会 報告書



平成27年度 五所川原市民討議会実行委員会

---

# 目次

● 市民討議会の概要	..... 1
・事業概要	
・タイムスケジュール	
・話し合いのルール	
● 市民討議会の目的・手法	..... 4
・市民討議会の目的	
・市民討議会の手法	
● 討議の進め方と論点（ねらい）	..... 7
・全体テーマ	
・テーマ1～テーマ3	
● 討議シート	..... 10
・テーマ1～テーマ3（提言）	
・投票結果	
● 市民討議会資料編	..... 34
・実行委員会規則	
・参加者案内通知	
・参加者アンケート結果	
・広報記事	
・コーディネータープロフィール	

# 市民討議会の概要

## ■ 事業概要 ■

- 事業名 平成27年度 五所川原市民討議会
- 運営形態 五所川原市 ・ 公益社団法人 五所川原青年会議所 共催
- 開催期日 平成27年7月11日(土)  
14時00分～17時30分
- 開催場所 五所川原市民学習情報センター
- 参加者 35人(18歳以上の市民)
- 参加者選出 住民基本台帳から無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内を送付し、55名から応募がありました。厳正なる抽選の結果40名を参加者と決定し、参加依頼を送付しました。(個人情報保護のため、抽出は五所川原市、発送・集計作業は平成27年度市民討議会実行委員会事務局が担当しました。)
- 討議テーマ ともに語ろう、ふるさとの未来を  
～五所川原市総合計画重点プロジェクトを考える～
- 小テーマ  
【テーマ1】：「五所川原市の課題を解決する為には」  
【テーマ2】：「五所川原市の課題を一体的に解決するには」  
【テーマ3】：「私達にできる五所川原市の課題解決策」
- 情報提供  
情報提供① 【テーマ1】において、五所川原市より「五所川原市総合計画重点戦略」に関する情報提供を受けました。  
情報提供② 【テーマ3】において、らぶ・ごしょがわら実行委員会より「らぶ・ごしょがわら実行委員会の取組例」に関する情報提供を受けました。
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】  
①参加者を、討議グループ(1グループ約5人、計5グループ)に分け、進行は実行委員会のファシリテーターが務めました。  
②討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約しました。  
③グループで集約した意見を発表したのち、賛同できる意見に対して投票を実施しました。
- 実施報告 討議結果は、報告書にまとめ、提言として市長に提出します。

## ■平成27年度五所川原市民討議会プログラム■

平成27年7月11日（土）

五所川原市民学習情報センター

TIME	内容
13:30～	受付開始
14:00～	開会
14:06～	進行についての説明
14:18～	<b>市民討議 テーマ1</b> 『五所川原市の課題を解決するには』
15:04～	休憩
15:15～	<b>市民討議 テーマ2</b> 『五所川原市の課題を一体的に解決するには』
16:03～	<b>市民討議 テーマ3</b> 『私達にできる五所川原市の課題解決策』
16:44～	グループ発表
17:09～	投票
17:18～	まとめ
17:28～	閉会
閉会后	参加者アンケート 随時解散

## ■ 話し合いのルール・意見の出し方 ■

討議に先立ち、総合コーディネーターより、話し合いのルール及び意見の出し方について説明を行いました。

各テーブルでは、ファシリテーターが、討議がスムーズに進むよう、付箋の使い方や話し合いの進め方などについてのサポートを行いました。

### 話し合いのルール

- ①自分だけ話さない
- ②頭から否定しない。  
質問として聞く。
- ③人の意見を最後まで聞く。
- ④楽しい雰囲気大切に。

## 市民討議会の目的・手法

### ■ 市民討議会の目的 ■

今回の市民討議会の目的は、自治意識の向上と自治の担い手の育成としました。このディスカッションを通じ、市民がよりよい暮らしのために何を求め、どう行動しようとしているのかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、市民参加者が今まで以上に、この地域に興味を持ち、自らが主体的に行動することの重要性を認識していただくという市民意識の変革を期待するねらいが込められています。

### ■ 市民討議会の手法 ■

～プラーヌクスツェレとの比較で～

今回の市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プラーヌクスツェレ（注）」に学びながらも、独自に地域に見合った形に再構成し、実施するにあたり、様々な創意工夫を行いました。その特徴は、次のとおりです。

#### 1. 運営組織＝実行委員会形式

五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所の共催事業として開催し、開催準備から当日の運営を両者からなる実行委員会が担当しました。実行委員会は、計9人で構成され、4月24日の初会合から7月11日の開催日まで、延べ5回開催されました。

実行委員会では、常に当日参加する市民参加者の立場に立った議論を心がけてきました。また、自由な意見交換と立場を越えた実行委員としての公平性を基本として、「提案・討議・検証・改善」を何度も繰り返しながら進められ、終盤では、当日初参加の市民を想定して、実際にワークショップを行いました。

## 2. 住民基本台帳による完全無作為抽出

市民討議会への参加の呼びかけは、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出を行い、1,500名に参加依頼書を送付しました。一定地域に偏らないよう旧市町村単位の人口比率を加味したことで、より地域の構成要素に沿った抽出となりました。締切日までに送られてきた参加承諾書は、55名でした。なお、個人情報保護の観点から抽出は五所川原市が、発送・集計作業は実行委員会で担当しました。

## 3. 話し合いの方法

話し合いは、プランクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の1点目は、1グループ約5人単位で、全部で5グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内全ての人が発言する機会があります。2点目は、各グループにより発表が行われ、全体の意見の傾向を見るために、参加者が投票を行うことで、参加者全体の意見の共有に努めたことです。

## 4. コーディネーターによる先導

話し合いにおいて、スムーズな進行とテーマから逸脱しないように有識者であり、経験豊富な弘前大学大学院地域社会研究科の准教授平井太郎様にコーディネーターとして全体の総括を行っていただきました。

(注)：解説：プランクスツェレとは・・・

プランクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・C・ディネールドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。

ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

### ★定義

『プランクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む

市民グループである』～「プラーヌクスツェレ（ディーネル教授 著）」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

## 討議の進め方と論点（ねらい）

### ◆全体テーマ ともに語ろう、ふるさとの未来を ～五所川原市総合計画重点プロジェクトを考える～

◇ねらい：本格的な人口減少時代に突入し、2035年の五所川原市の人口は4万人を切り、高齢化率が40%を超えると予想されている。この事から昨年度の市民討議会では人口減少問題をテーマに討議された。そして、この市民意見などを基にして策定された五所川原市総合計画では、主に人口減少対策が最重要かつ喫緊の課題として重点戦略に設定されている。この重点戦略とは、社会的経済活動の担い手の確保かつ人口減少に歯止めをかける為の「若者の定住促進戦略」と、人口増加に限界がある事から交流人口の増加を促す為の「交流倍増戦略」、そして、青森県が平均寿命全国最下位の短命県から脱却する為の「元気・健康づくり戦略」があり、これら3つの戦略を分野横断的に取り組む為の戦略を指す。

本年度の市民討議会のテーマ設定として、人口減少対策が五所川原市の最重要かつ喫緊の課題である為に、この課題を本年度に於いても討議すべきと考え、人口減少対策について昨年度より具体性のある討議とするべく、また、五所川原市の将来像について「活力ある・明るく住みよい豊かなまち ーみんな大好き ごしょがわらー」の実現に向けて、五所川原市総合計画の重点戦略から討議を始められる様にこのテーマ設定とした。

#### □情報提供1

◆内 容「総合計画とは、重点戦略とは」  
(討議1に先立ち約6分説明。パワーポイントスライド)

◇ねらい：五所川原市の総合計画、そして、重点戦略を策定するに至った経緯や目的を説明する事により、参加者に五所川原市の課題の重要性を認識して頂く事をねらいとする。

#### □討議1 ◆小テーマ「五所川原市の課題を解決する為には」

◆論 点：重点戦略の背景にある課題を解決するアイデアを募り共有を図る。

◇ねらい：3つの重点戦略の背景にある課題を解決するアイデアを、参加者の生活知を基に自由により多く出して頂くと共に、討議を通して五所川原市の課題をより理解して頂く事をねらいとする。

## □討議2 ◆小テーマ「五所川原市の課題を一体的に解決するには」

◆論 点：討議1で出されたアイデアを複合させて、課題を一体的に解決するアイデアを創造し共有を図る。

◇ねらい：討議1では1つの戦略毎に課題を解決するアイデアを募ったが、討議2では討議1で出されたアイデアを、1つの重点戦略の分野を超えて掛け合わせる事によって、課題を一体的（分野横断的）に解決するアイデアをより多く創造して頂く事をねらいとする。なお、一体的な解決方法によって複数の重点戦略に相乗効果が期待できると考えられる。

## □情報提供2

◆内 容 「らぶごしょがわら実行委員会の取組例」  
（討議3に先立ち約6分説明。パワーポイントスライド）

◇ねらい：らぶごしょがわら実行委員会のこれまでの事業を紹介して、その事業が昨年度以前の市民討議会の市民意見を市民が主体となって実現した事業である事を説明する。それによって、参加者に本討議会の市民意見の実現性と市民参画の重要性を認識して頂く事をねらいとする。

※補 足：25年度 お土産PR活動、五所川原のお菓子試食セット無料配布、ごしょ1グランプリ～お菓子編～

26年度 ごしょりん健康体操、農業体験BBQ

## □討議3 ◆小テーマ「私達にできる五所川原市の課題解決策」

◆論 点：討議2で創造したアイデアを1つに絞り込んで企画化し、そして、グループでの最も有効な課題解決策としてシミュレーション（成果目標を達成する為に協働して行う最も有効な取組の確認・提案）する事で、参加者の主体的参加意識の向上に繋げる。

◇ねらい：討議2で創造したアイデアを参加者の投票によって1つに絞り込み、そのアイデアについて市民が実践できる課題解決策としてさらに討議する事で、より内容を深め具体的な企画に発展させると共に、その企画の過程でグループでの最も有効な「私達にできる五所川原市の課題解決策」としてシミュレーションする事によって、参加者の主体的参加意識の向上に繋げる事をねらいとする。

---

## 討議シート

チーム名：しもD

ファシリテーター：下川原 伸 彦

討議テーマ1 「五所川原市の課題を解決する為には」

★五所川原市総合計画の重点戦略の「若者の定住促進」「交流倍増」「元気・健康づくり」の各々についてアイデアを発表した。

## 若者の定住促進

ジャンル	アイデア
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高一貫校</li> <li>・外国人と触れ合える教育環境</li> <li>・教育の充実</li> </ul>
婚活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街コンの強化</li> <li>・婚活支援があると良い</li> </ul>
住居	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興住宅街の整備</li> <li>・民間アパートの市からの援助</li> </ul>
周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ人口減少が問題かを周知する</li> </ul>
お金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金アップ</li> </ul>
サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業等の支援制度</li> <li>・医療費助成の拡大</li> </ul>
仕事、雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の創出 拡大</li> <li>・店を増やす</li> <li>・学校が少ないのが問題</li> <li>・起業や大型商業施設の誘致</li> <li>・IT産業</li> </ul>

## 交流倍増

ジャンル	アイデア
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊ぶ場所を増やす</li> <li>・エルム以外の商業施設の誘致</li> <li>・ドーム等、使われていない施設をドッグランなどに使用する</li> </ul>
PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ねふたを県外でPR</li> <li>・五所川原市の知名度向上（五所川原市と言えば〇〇！）</li> </ul>
グルメ、名物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五所川原独自の商品の開発</li> <li>・飲食店、飲食物の充実</li> </ul>

学 び	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手芸など趣味特化の店を増やす（教室）</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光ルート化（名所、見所など回る順番を決め、一つのパッケージを作ってしまう）</li> <li>• たちねぶたの館の周りで雪を使ったイベント</li> <li>• 市民参加の冬のイベントを増やす</li> <li>• 体験学習イベント</li> <li>• 季節間のイベントを増やす</li> <li>• 家族連れなどが興味を持てるイベント 子供が楽しめるもの。巨大迷路、冒険的なスタンプラリー</li> <li>• 大きくPRしているイベント以外も取り上げていく</li> </ul>

## 元気・健康づくり

ジャンル	アイデア
運動機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツ施設の充実</li> <li>• 運動する習慣作り（ポイント制）</li> <li>• ラジオ体操の促進（景品、ポイントをつける）</li> <li>• 運動、クラブ活動の推進</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海、山など自然を使ったイベント</li> <li>• 世代間の交流の機会をもつ</li> </ul>
場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ランニングコースの考案、造成</li> <li>• 公共交通機関の充実 歩行促進 （駅、バス停までの歩行、またそこから目的地までの歩行が自家用車の時よりも多くなる為）</li> <li>• 生き生きセンターの充実 無料の日は混んでいるが・・・</li> </ul>
意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 健康診断受診率を上げる工夫を</li> <li>• 早期発見の重要性の啓発</li> </ul>
食習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食習慣のアピール 減塩レシピ</li> </ul>

討議テーマ2 「五所川原市の課題を一体的に解決するには」

★3つの重点戦略を一体的に解決できるように、討議テーマ1で出されたアイデアの掛け合わせを考え発表した。

### 若者の定住促進×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】仕事、雇用×【交】グルメ、名物	・屋台街づくり
【若】周知×【交】PR	・ホームページの充実
【若】周知×【交】イベント	・町内会の充実
【若】教育×【交】イベント	・交流学习でそれぞれの地元の良さを体験
新アイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメ、ゲームを取り入れる（弘前の成功例）</li> <li>・漫画やアニメなどを五所川原を舞台にしてPR</li> <li>・サブカルイベント</li> <li>・コスプレイベント</li> <li>・マンション</li> </ul>

### 交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【交】グルメ、名物×【健】イベント	・減塩食コンテスト
【交】娯楽×【健】運動機会	・雪まつり 雪の灯籠や雪だるま競争、雪合戦など
【交】PR×【健】イベント	・五所川原をPRできる減塩の大型鍋による汁物を提供
【交】娯楽×【健】イベント	・ブラックバス釣りラリー
【交】イベント×【健】運動機会	・古川純一さんのスキー教室
【交】学び×【健】イベント	・太宰ツアー
【交】イベント×【健】場所	・フリーマーケットの開催
【交】学び×【健】イベント	・農業体験研修
【交】学び×【健】イベント	・農園の充実 他県の修学旅行生に体験、農家にホームステイ

### 元気・健康づくり×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
	なし

## 若者の定住促進×交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
	なし

### 討議テーマ3 「私達にできる五所川原市の課題解決策」

★テーマ2で生まれたアイデアの中から、投票をして選ばれた1つについて具体的な企画化の為に討議を行い様々な提案をした。

企画名	サブカル イン 五所川原
掛け合わせた戦略	若者の定住促進、交流倍増
対象者	制限なし
概要	コスプレを中心とした各種イベント
手法 (イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスプレしてごしょりん健康体操</li> <li>・コスプレダンス大会 ステージで披露</li> <li>・過去のイベントもサブカルと掛け合わせてもう一度開催</li> <li>・撮影会 見学者も楽しめるイベント</li> <li>・コスプレ盆踊り</li> <li>・前夜祭の開催 (宿泊、観光など、コスプレイベント以外の恩恵)</li> <li>・オルテンシア、ドームで開催他、十二本ヤスや たちねぷたとの撮影会 (仏ヶ浦でのコスプレイベントの成功例から)</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道好きも集まるのでは</li> </ul>

チーム名：仲良い(E)チーム

ファシリテーター：関 拓 人

討議テーマ1 「五所川原市の課題を解決する為には」

★五所川原市総合計画の重点戦略の「若者の定住促進」「交流倍増」「元気・健康づくり」の各々についてアイデアを発表した。

## 若者の定住促進

ジャンル	アイデア
農 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の創出（シジミラーメンのような食のブランド化）</li> <li>・一次産業の振興策（米、リンゴ）</li> <li>・特産品の創出（米、リンゴなどを使った加工品、酒）</li> </ul>
住みやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都会での息苦しい生活と違った豊かさのアピール。</li> <li>・都会での労働力の使い捨て 例：都会のような労働力の使い捨ては地元にはない。</li> <li>・安心感・地元の良さのアピール 例：安心感など地元の良さをアピール。</li> </ul>
娯 楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が遊べる場所や店を増やす。</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人達が集まれる交流会を開く。</li> </ul>
仕 事 (交流と連動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手の子会社の企業誘致（若者は地元に住みたい）</li> <li>・五所川原市の企業へPR（観光・まつり・イベント）</li> <li>・興味関心が高まる仕事があること。</li> </ul>
中心市街地活性化 (交流と連動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市内の街を活性化。</li> <li>・ハイカラ町をアーケード商店街にする。</li> </ul>

## 交 流 倍 増

ジャンル	アイデア
リピーター確保 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りのマナー向上（挨拶運動、交通マナー向上、スローガンの運動の推進）</li> <li>・清掃活動で街をきれいにする（クリーンで魅力ある街）</li> <li>・もう一度訪れたいと思わせる街づくりが必要。</li> </ul>

<p>中心市街地活性化 (若者定住と連動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立佞武多の館を軸としたイベントを定期的を開催して欲しい。 (折角の観光施設をもっとPRする)</li> <li>・ 地元だけ知らない中心市街地の魅力発信 (街中の活気が欲しい、見るところが欲しい)</li> <li>・ 市民体育館周辺の公園を含めて良い所をアピールしたい。 (花ショウブ祭り)</li> <li>・ 駐車場がない。</li> </ul>
<p>仕事 (若者定住と連動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北東北初の商業施設を作る (五所川原商業移設⇒跡地に「コストコ」「アウトレット」を誘致)</li> <li>・ 五所川原の商業を津鉄路線沿線に移転 (津鉄の活性化)</li> </ul>
<p>清掃活動 (クリーン活動) (元気・健康と連動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃活動を通して住民に街を歩いてもらう。また、若い人にも喜んで参加してもらえるように参加者にクーポン券等を配布して参加率の向上を図る (クーポン券は地元商品券として町の活性化を図る。)</li> <li>・ 市民が集まって清掃活動できるきっかけづくり。</li> <li>・ きれいにするだけの清掃活動ではなく、街の魅力向上のために花を植える。</li> <li>・ モチベーションUPのために表彰制度にする。</li> <li>・ 規模が大きくなれば、企業も巻き込んでイメージ向上やスポンサーもついてくれるといい。</li> </ul>

## 元気・健康づくり

ジャンル	アイデア
<p>生活習慣</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減塩食や健康食の料理教室を開催する。</li> <li>・ 民生委員の定期巡回 (高齢者訪問)</li> </ul>
<p>スポーツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色んな世代が参加してコミュニティ形成のきっかけになって欲しい。</li> <li>・ 野外レクリエーションを企画する (ウォークラリー)</li> <li>・ 社会人スポーツの大会。</li> </ul>
<p>生きがいづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯現役でいることが心身の健康に繋がる。</li> <li>・ メンタルケア。</li> <li>・ 高齢者の社会参加促進。</li> </ul>

討議テーマ2 「五所川原市の課題を一体的に解決するには」

★3つの重点戦略を一体的に解決できるように、討議テーマ1で出されたアイデアの掛け合わせを考え発表した。

### 若者の定住促進×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】娯楽 ×【交】仕事	・にぎやかな街づくり。
企業 × 大型店 × 学校誘致	・複合娯楽施設を作り、近くに学校を誘致し、賑わいを作る。
【若】農業 ×【交】中心市街地活性化	・特産販売所を作る（6次産業化、軽トラ市だけでなく常に買い物ができる場所を作る）

### 交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
交流倍増 × 元気・健康づくり	・五所川原市のキャッチフレーズを作ろう。
【交】環境整備 ×【元】スポーツ	・自分でスポーツする場所を自分で整える（空き地の整備等、整備自体をレクリエーション化して、交流のきっかけ作り）

### 元気・健康づくり×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】農業 ×【元】生きがいづくり	・特産品や観光資源を作る（田んぼアートのような観光地作り、みんなでワイワイ楽しい体験農業）
【若】コミュニティ ×【元】生きがいづくり	・文化の継承（アケビ細工、ししまいといった文化の講習会を開き、若い世代との交流を図る）

## 若者の定住促進×交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】中心市街地活性化 × 【交】清掃活動 ×【元】運動	ふれあいクリーン作戦 <ul style="list-style-type: none"> <li>立佞武多の館周辺の清掃活動スタンプラリー</li> <li>町内会のつながりを利用して参加者を確保する。</li> <li>地元の良さをしってもらうために地元商品券の配布（地元の人知らない県外では貴重なものの価値を知ってもらう）</li> <li>施設入場券なども商品にし、地元の施設の良さも知ってもらう。（斜陽館、立佞武多の館などの良さを若い人に知ってもらい情報発信してもらう）</li> </ul>

## 若者の定住促進×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
農業 × リピーター確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫時期等の人のかき入れ時に都会から来てもらって手伝ってもらう。</li> <li>2ヶ月間だけスローライフで働いてもらう（企業の協力必要）</li> </ul>

## 交流倍増×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
なし	なし

## 交流倍増×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
スポーツ×生きがい	スポーツが出来る屋内施設で幅広い世代ができるようなスローな運動をする。

### 討議テーマ3 「私達にできる五所川原市の課題解決策」

★テーマ2で生まれたアイディアの中から、投票をして選ばれた1つについて具体的な企画化の為に討議を行い様々な提案をした。

企画名	ふれあいクリーン作戦
掛け合わせた戦略	交流倍増、元気・健康づくり
対象者	地元住民
概要	清掃活動を通して、住民同士の交流機会の増加、自分達で街を良くしていくという意識啓発を図る。また、関係団体を多くすることで地元商店街の活性化にも繋げる。
狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 来た人が好きになって「また来たい」と思える綺麗な街づくり。</li> <li>• 市民同士の交流の場にする。</li> <li>• 自分達で街の魅力を高めることで、モラル向上と帰属意識を高める。</li> </ul>
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 月1回の定期的なクリーン活動を行う。</li> <li>• 町内会や既存のつながりを通して幅広い参加者を募る。</li> <li>• 花を植えることで前よりも綺麗な街にする。</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交流のきっかけになるように色んな世代に集まってもらう仕組みづくり。</li> <li>• 若い人にたくさん楽しく参加してもらうために、クーポン券や地元商品券の配布。</li> <li>• 地元の特産品、観光施設入場券も配布し、地元の人に地元の良さを理解してもらう。</li> <li>• 地元の良さを知った若者がSNS等を通して新たな情報発信者になる。</li> <li>• 地元商店街で商品券を使うことで、地元の活性化になる。</li> </ul>

チーム名：「はせこ」と愉快的仲間たち ファシリテーター：長谷川 泰 典

討議テーマ1 「五所川原市の課題を解決する為には」

★五所川原市総合計画の重点戦略の「若者の定住促進」「交流倍増」「元気・健康づくり」の各々についてアイデアを発表した。

## 若者の定住促進

ジャンル	アイデア
育 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯へのサービスの充実を図る。</li> <li>・子供参加型のイベントを企画し交流を図る。</li> <li>・子育て世帯への賃貸住宅の家賃補助。</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活。</li> <li>・ELMと提携して若者向けのイベントを企画。</li> <li>・五所川原でのみ使用可能な通貨や商品券による補助事業。</li> <li>・学区を超えた子供たちの交流によって地元の魅力を発見する。</li> </ul>
雇 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業による職場のPR活動。自社の仕事を伝えるCMコンテスト。</li> <li>・企業誘致。雇用の確保。老若男女働ける企業。</li> <li>・所得の向上。</li> </ul>
町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所付き合いを充実させることにより住みやすい町づくりを目指す。</li> </ul>
税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税の見える化（使用用途をわかりやすくしてもらう）</li> </ul>

## 交 流 倍 増

ジャンル	アイデア
名 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地・名所をもっと周知させる。</li> <li>・見落としている地域にスポットを当て有効利用する。また、PRする。</li> <li>・公園等の整備。遊具を増やす。</li> </ul>
名 産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産品を使った特産品や名物品の新規提案。</li> <li>・既存の特産物をもっとPRする。ブランド化やタイアップ等のイメージ戦略を図る。</li> </ul>

観 光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立佞武多体験として1台を確保し、観光客等に太鼓、笛、鐘を体験する形で参加させる。</li> <li>・立佞武多の正装にこだわらず仮装行列等を行う。</li> <li>・ロボットのように動く立佞武多を作成。</li> <li>・北海道新幹線開業に伴い、今別駅からの観光ルートを作成する。</li> <li>・定期ルートを巡る100円バスや格安タクシーなどを考案し、交通の利便を図る。</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五所川原駅前を活性化してJR、津鉄の利用者を増やす。</li> <li>・綺麗なゴミのない街づくりをすることによって好印象を持ってもらう。ゴミ拾い運動。</li> <li>・道の駅を作る。</li> <li>・期間限定で古民家宿泊体験（楠美邸等）</li> <li>・花火大会の改革。</li> <li>・レンタサイクルの導入。</li> <li>・冬のイベントを企画。雪まつり等。</li> </ul>

## 元気・健康づくり

ジャンル	アイデア
運 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内会単位でラジオ体操などを推奨する。</li> <li>・五所川原市大運動会、スポーツ大会の実施。</li> <li>・気軽に通える運動、健康教室の開催。送迎あり。</li> <li>・歩こう会、ウォーキング大会の参加等の呼びかけ。</li> <li>・ポイント制の導入</li> </ul>
健 康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康をテーマにしたキャラクターを作り、あちこちで健康、運動の雑学を披露する。</li> <li>・市の健康診断の認知を徹底する。</li> </ul>

討議テーマ2 「五所川原市の課題を一体的に解決するには」

★3つの重点戦略を一体的に解決できるように、討議テーマ1で出されたアイデアの掛け合わせを考え発表した。

### 若者の定住促進×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】イベント×【若】イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親や学生参加型のワークショップ、フリーマーケットの開催。</li> </ul>

### 交流倍増×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【交】名産×【交】イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消B級グルメ大会の開催。</li> </ul>
【交】名所×【交】観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光名所を巡る五所川原ハトバス、定期観光バス。買物のレシート等で、乗車無料券や立佞武多の館入場無料券などがもらえる。</li> </ul>

### 元気・健康づくり×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【元】運動×【元】健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会対抗五所川原市大運動会。</li> <li>・ナイターラジオ体操の開催。</li> </ul>

### 若者の定住促進×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】育児×【交】イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性のための子育て支援施設を作る。</li> <li>・ママ友交流会のワークショップやフリーマーケットを開催し親睦を図る。</li> </ul>
【若】イベント×【交】イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前の空店舗を使って学生参加型のワークショップ等の開催。</li> </ul>

### 交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【交】観光・イベント×【元】運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の運動会（リレー、雪合戦、ハーフパイプ、すべり台の設置）</li> <li>観光名所や名産品を巡るウォーキングスタンプラリーを婚活と掛け合わせる。</li> </ul>

### 元気・健康づくり×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【元】健康 ×【若】育児	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費や健康診断に補助金。</li> <li>公園に子供の遊べる遊具を増やす（アスレチック等）</li> </ul>

### 若者の定住促進×交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
	なし

### 討議テーマ3 「私達にできる五所川原市の課題解決策」

★テーマ2で生まれたアイデアの中から、投票をして選ばれた1つについて具体的な企画化の為に討議を行い様々な提案をした。

企画名	朝から楽しむ立佞武多！
掛け合わせた戦略	若者の定住促進、交流倍増
対象者	市内外、すべての人々
概要	立佞武多を夜の運行だけではなく朝からずっと楽しめるフェスティバルにしよう！
手法 (イメージ)	<p>昼の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者天国によるフリーマーケットやクラフト店。</li> <li>・五所川原市の地元食材を使った飲食店。(B級グルメ)</li> <li>・上記、〇千円以上お買い物で立佞武多の館の入館料無料券配布。</li> <li>・学生による観光案内。(立佞武多アテンダント)</li> <li>・外国人向けの通訳案内。</li> <li>・ごしょりん音頭制作と披露。</li> </ul> <p>夜の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立佞武多に参加する事で婚活ができるイベント。</li> <li>・プロジェクションマッピングによる立佞武多歴史紹介や祭りの風景の上映。</li> </ul>
効果	<p>終日楽しむことによる多角的な祭りすることで様々な相乗効果を生み出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルバスの運行から立佞武多運行までの時間を埋める。</li> <li>・地元食材を使った料理を出店することによるPR活動。</li> <li>・フリーマーケットやクラフト店等の出店による様々な交流、観光客の増加。</li> <li>・祭り期間中の空店舗の有効活用や駅前の活性化。</li> <li>・地元の学生が観光案内をすることにより、自ら歴史を知り郷土愛が深まる。</li> <li>・より大きな祭りによって市民が誇れる五所川原市を目指す。</li> </ul>

チーム名：目指せ！明るく楽しい五所川原 ファシリテーター：田 中 宏 明

討議テーマ1 「五所川原市の課題を解決する為には」

★五所川原市総合計画の重点戦略の「若者の定住促進」「交流倍増」「元気・健康づくり」の各々についてアイデアを発表した。

## 若者の定住促進

ジャンル	アイデア
郷土愛	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校などで文化、伝統といった五所川原市の良さを若者に理解してもらおう。</li> <li>祭りなどで地域住民がもっと交流する機会を増やす。</li> </ul>
雇 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職の倍率が高いので市の仕事を増やす。</li> <li>雇用の確保や促進。</li> <li>賃金の引上げ。</li> </ul>
農 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>農家の生活をもっと充実させる。</li> <li>若者が農業に希望が持てるように収入を多くする。</li> </ul>
魅 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>都会のように若者に魅力的なものを作る。</li> <li>遊ぶ場所やデートスポットを増やす。</li> </ul>

## 交 流 倍 増

ジャンル	アイデア
場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が好むようなレジャー施設を作る。</li> <li>観光のまちにする。</li> <li>子どもが楽しめる遊園地や動物園を作る。</li> </ul>
P R	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜祭りを立ねぶたでPRする。</li> <li>映画やテレビを利用してPR。</li> </ul>
新料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の特産品であるシジミやりんご、金木の馬肉などを使った新料理を開発し観光客を呼び込む。</li> <li>新たな郷土料理やB級グルメを作る。</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘉瀬地区では会費1,000円で飲んで食べれるカラオケ大会を行っており、このようなイベントを増やす。</li> <li>立佞武多の館や、津軽三味線会館、十三湖などで参加型のイベントを開き、観光地を盛り上げる。</li> <li>パワースポットを作る。</li> </ul>

福 社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前のヒロロスクエアのような土、日もやっている支援センターを作る。</li> </ul>
-----	--

## 元気・健康づくり

ジャンル	アイディア
食 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店で出す料理を減塩する。</li> <li>・家庭や町内で食の専門知識のある人を呼んで協力してもらう。</li> </ul>
自己管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒、タバコ、食事を個人で管理する。</li> <li>・健康づくりを個人で意識して行う。</li> <li>・ウォーキングやジョギングなどできる事から始める。また、市はサポートする。</li> </ul>

討議テーマ2 「五所川原市の課題を一体的に解決するには」

★3つの重点戦略を一体的に解決できるように、討議テーマ1で出されたアイディアの掛け合わせを考え発表した。

## 若者の定住促進×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイディア
【若】農業 ×【交】PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業のブランド化をねらいイメージを良くする為にPRを行う。</li> </ul>
新アイディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅を観光客がたくさん入れるよう駅ビル化する事で雇用を確保する。</li> <li>・都市からの就農者に援助する事で雇用を増やす。</li> </ul>

## 交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイディア
【交】イベント ×【元】自己管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬に健康スポーツイベントとして雪上綱引大会を開催する。</li> </ul>
【交】新料理 ×【元】食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金木町観光物産館マディニーで、名物になるような減塩した新たな郷土料理を作って販売する。</li> </ul>

【交】新料理 ×【元】食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの支援を主としたテーマパークを作り、下記の施設を設ける。             <ul style="list-style-type: none"> <li>3歳までの乳幼児向けの塩分0.5グラムの減塩料理を提供する店</li> <li>動物園</li> <li>水きりして遊べる川場</li> </ul> </li> </ul>
---------------	--

### 元気・健康づくり×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイディア
	なし

### 若者の定住促進×交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイディア
【若】雇用 ×【交】宿泊施設 ×【元】食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用の確保、宿泊施設の充実、健康的な食事、この3つをテーマとしたテーマパークを作り、減塩した新たな郷土料理を提供して、観光客に市のPRをする為の宿泊施設を作る。そして、雇用の確保に繋げる。</li> </ul>

### 若者の定住促進×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイディア
新アイディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の値段を高くする。</li> </ul> <p>稲作、野菜等の農業を充実させ利益を上げることで、雇用の確保に繋がり若者の定住が見込める。その為に、私達は野菜等の食料品を買う際に値段より地産地消を優先するようにする。また、農家がよくなる事でその周りの人たちも良くなり、立ちねぶたやその他のイベントも立活性化し健康にも良い。</p>

### 交流倍増×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイディア
新アイディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ちねぶたの後始末（場所取り、ガムテープはがし、吸殻拾い等）を若者と共に行う。</li> <li>遊園地を作る。</li> </ul>

## 元気・健康づくり×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
新アイデア	なし

### 討議テーマ3 「私達にできる五所川原市の課題解決策」

★テーマ2で生まれたアイデアの中から、投票をして選ばれた1つについて具体的な企画化の為に討議を行い様々な提案をした。

企 画 名	夢のテーマパークコンテスト
掛け合わせた戦略	若者の定住促進、交流倍増、元気・健康づくり
対 象 者	指定しない（自由応募）
概 要	未来のテーマパークの構想を、市民が応募するコンテストを開催する。
手 法 (イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ちねぶたの形をした道の駅をテーマパークの入口にしてみてもどうか？</li> <li>・無料駐車場がある。</li> <li>・大きな公園がある。</li> <li>・減塩した新たな郷土料理を提供する宿泊施設がある。</li> <li>・自然を活用した遊び場がある。</li> <li>・室内の子どもの遊び場がある。</li> <li>・土地は市で買い取る。</li> <li>・新たなエルムの街となるようなテーマパーク。</li> <li>・花壇を作る。</li> <li>・ソフトクリームを販売する。</li> <li>・自転車などの遊具がある遊び場で交通ルールを教えたらどうか？</li> <li>・敷地内はセグウェイで移動できる。</li> <li>・産地直売所がある。</li> </ul>
効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな雇用の創出が見込まれるので若者の定住促進が期待できる。</li> <li>・魅力あるテーマパークとする事で観光客が増加し、交流倍増に直結する。</li> <li>・大きな公園を利用したスポーツイベントを行ったり、減塩料理を提供する事で元気・健康づくりとなる。</li> </ul>

チーム名：やっぴまれ五所川原

ファシリテーター：木村 健太郎

討議テーマ1 「五所川原市の課題を解決する為には」

★五所川原市総合計画の重点戦略の「若者の定住促進」「交流倍増」「元気・健康づくり」の各々についてアイデアを発表した。

## 若者の定住促進

ジャンル	アイデア
仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金が安いので賃金の値上げ。</li> <li>・国、県、市からの助成金を受けて、魅力ある就職先を確保する。</li> </ul>
出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独身者の出会いの場を提供。</li> <li>・出会いのイベントを増やす。</li> </ul>
魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねぷたや虫おくり等をもっと発信していく。</li> <li>・観光地やイベントのPRをたくさんする。</li> <li>・駅に飲食店や洋服店をつくる。</li> </ul>
郷土愛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五所川原の伝統的なイベントを知ってもらう機会を増やす。</li> <li>・祭りを通じて子供から大人までふれ合う機会をつくる。</li> </ul>

## 交流倍増

ジャンル	アイデア
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有名な人気店を集めた食フェスタの開催。</li> <li>・子供向けのイベントを毎月開催。</li> <li>・立ねぷたや三味線等の体験イベントを増やす。</li> </ul>
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験を倍増させる。</li> <li>・名物料理を子供と一緒に作る。</li> <li>・農作物に対してのオーナー制度。</li> <li>・新しい特産品のPR。</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民宿の整備 ・芝生公園の整備 ・キャンプ場の整備。</li> <li>・さくら等の植樹。</li> </ul>
文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の見直し ・史跡の見直し。</li> <li>・芸術村を造る。</li> <li>・三味線弾きや歌手を育てる（芸術一般に広げたい）</li> </ul>

## 元気・健康づくり

ジャンル	アイデア
健康診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断の促進。</li> <li>予防接種などの医療費の負担軽減。</li> </ul>
食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の減塩。</li> <li>食生活を考えて常に健康に意識する。</li> <li>野菜作りの促進。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操の促進。</li> <li>歩こう会の結成やノルディックウォーク会の結成。</li> <li>趣味やサークルを作って交流。</li> </ul>

討議テーマ2 「五所川原市の課題を一体的に解決するには」

★3つの重点戦略を一体的に解決できるように、討議テーマ1で出されたアイデアの掛け合わせを考え発表した。

## 若者の定住促進×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】出会い×【交】イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>シードル日本酒の会を作って、出会いのきっかけとなる場を作る。</li> </ul>
【若】魅力×【交】イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>金木のトマトを使って、トマト投げ大会を開催。</li> </ul>

## 交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【交】イベント×【元】運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操の促進（声掛け、挨拶の促進）</li> </ul>
【交】農業×【元】食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の農業体験として、春に種を植え収穫した物を使って料理を作る（通年）</li> </ul>

## 元気・健康づくり×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【元】食生活 ×【若】魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土料理本を作る。</li> <li>地元の特産品を使用した健康食品を作る。</li> <li>五所川原にはこんなに素晴らしい郷土料理があることを知ってもらう。</li> </ul>

## 若者の定住促進×交流倍増×元気・健康づくり

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
【若】魅力 ×【交】イベント ×【元】運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドロリンピックの開催</li> <li>一年を通して、田んぼを使って開催するイベント（神事とした収穫体験）</li> </ul>

## 若者の定住促進×若者の定住促進

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
新アイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動公園、運動場を作る。</li> <li>Webデザインのコンテスト。</li> </ul>

## 交流倍増×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
新アイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光の開発。</li> <li>グリーンツーリストの発展。</li> <li>祭り期間中の滞在を促進 ※割引特典など</li> </ul>

## 交流倍増×交流倍増

掛け合わせたジャンル	生まれたアイデア
新アイデア	なし

討議テーマ3 「私達にできる五所川原市の課題解決策」

★テーマ2で生まれたアイデアの中から、投票をして選ばれた1つについて具体的な企画化の為に討議を行い様々な提案をした。

企 画 名	ドロリンピック五所川原
掛け合わせた戦略	若者の定住促進、交流倍増、元気・健康づくり
対 象 者	子供から大人まで
概 要	一年を通して市内の田んぼを利用し、春・夏・秋・冬の運動イベントを開催しながら、農業体験をしてもらう。
手 法 (イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春はマッド（泥）フラック</li> <li>・夏は大運動会</li> <li>・秋は収穫体験、料理教室</li> <li>・冬は地吹雪体験ツアー、凧揚げ</li> </ul>
効 果	<p>「若者の定住」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの開催により若者が集う</li> <li>・出会いの場が出来る</li> </ul> <p>「交流の倍増」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界大会にする</li> <li>・虫送りのような神事</li> <li>・お年寄りから子供への知識伝達</li> </ul> <p>「元気・健康づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動による健康増進</li> <li>・食の見直し</li> </ul>

## 投票結果

- 1位 チーム名：やってまれ五所川原  
企画名：ドロリンピック五所川原
- 2位 チーム名：しもD  
企画名：サブカル イン 五所川原
- 3位 チーム名：仲良い（E）チーム  
企画名：ふれあいクリーン作戦
- 4位 チーム名：目指せ明るく楽しい五所川原  
企画名：夢のテーマパークコンテスト
- 5位 チーム名：「はせこ」と愉快的仲間たち  
企画名：朝から楽しむ立佞武多！

---

# 市民討議会 資料編

## 平成27年度 五所川原市民討議会実行委員会会則

### (名称)

第1条 本会は、平成27年度五所川原市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 実行委員会は、平成27年度五所川原市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

### (所掌事務)

第3条 実行委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 平成27年度五所川原市民討議会実行委員会会則（以下「会則」という。）の制定及び改廃に関すること。
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 市民討議会の実施に関すること。
- (5) 市民討議会の成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (6) 市民討議会の実施状況の公開に関すること。

### (組織)

第4条 委員は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 公益社団法人五所川原青年会議所会員
- (2) 五所川原市職員
- (3) 前2号に掲げるもののほか、実行委員会委員長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、平成28年3月31日までとする。

2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

(3) 書記・会計 若干名

(4) 監事 2名

2 役員は委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が職務を行うことができない場合は、その職務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の総会及びその他会議は、委員長が召集する。

2 実行委員会の総会は、第3条第1号から第3号までの規定に関して審議し、決定する。

3 実行委員会のその他会議は、第3条第4号から第6号までの規定に関して協議及び検討する。

4 実行委員会の総会及びその他会議等の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第8条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(経費)

第9条 実行委員会の経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第10条 実行委員会の収支予算については、総会の議決により定め、収支決算については、事業終了後、速やかに監事の監査を経て総会の認定に付さなければならない。

(会計年度等)

第11条 実行委員会の会計年度は、この会則の施行日から始まり、平成28年3月31日に終わる。

(解散)

第12条 実行委員会は、その目的が達成された時に解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この会則は、平成27年4月24日から施行する。

## ■参加者案内通知■

平成27年5月吉日

市民の皆様へ

五所川原市長 職務代理者  
副市長 三上 裕行

公益社団法人 五所川原青年会議所  
理事長 佐藤 昭義

～活力ある・明るく住みよい豊かなまち～  
「五所川原市民討議会」への参加のお願い

初夏の候、ますますご清栄のことと存じます。

この度、五所川原市と公益社団法人五所川原青年会議所は、平成27年度の取組といたしまして、「五所川原市民討議会」を協働で開催することといたしました（広報ごしよがわら5月号に内容が掲載されています。）。

市民討議会は、さまざまな市民の皆様から、幅広い意見を出し合ってください、市民参加のきっかけづくりと、市政への市民参画と協働を推進していくものです。

この市民討議会への「参加のお願い」は、18歳以上のすべての市民の中から1,500名を無作為抽出し、送付させていただいています。

つきましては、貴方様が無作為抽出により選出されましたので、趣旨をご理解のうえ、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

### 記

- |           |  |
|-----------|--|
| 1 日 時     | 平成27年7月11日（土）14時00分～17時30分                               |
| 2 場 所     | 五所川原市民学習情報センター<br>（住所：五所川原市字一ツ谷503番地5）                   |
| 3 討議会のテーマ | ともに語ろう、ふるさとの未来を<br>～五所川原市総合計画重点プロジェクトを考える～               |
| 4 謝 礼     | 3,000円<br>（詳細は決定通知書送付時にお知らせいたします。）                       |
| 5 参加定員    | 30名程度  |
| 6 進め方     | 参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿った意見を出し合ってください、グループごとにまとめていただきます。 |

- 7 回答方法
- (1) ご参加いただける場合  
 お手数ですが、別紙の承諾書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒により、平成27年6月15日までにご返送ください。
- (2) 不参加の場合  
 お手数ですが、別紙アンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒により、平成27年6月15日までにご返送ください。
- 8 参加者の決定 参加の申込みが多数となった場合は、申し訳ありませんが、抽選とさせていただきます。
- 9 その他
- 託児サービスなど  
 参加を承諾される方で、託児を希望する場合は、事前にご連絡ください（対象1歳から未就学児まで）。
  - そのほか、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

五所川原市民討議会実行委員会事務局

（公益社団法人五所川原青年会議所内）

〒037-0052五所川原市字東町17-5商工会館

TEL0173-35-4049

（10:00～17:00、土日祝を除く）

FAX0173-35-4044

五所川原市財政部企画課

〒037-8686 五所川原市字岩木町12

TEL0173-35-2111 内線2152～2154

FAX0173-35-3617

## ■各種アンケート■

### 参加者アンケート集計結果

回答数 35名

(質問 1) 本日、この市民討議会に参加された動機はなんですか？

- |   |                   |     |
|---|-------------------|-----|
| 1 | おもしろそうだったから……………  | 14名 |
| 2 | テーマなどにひかれたから…………… | 10名 |
| 3 | 報酬が魅力的だったから……………  | 2名  |
| 4 | その他……………          | 10名 |
- ・五所川原市が好きだから
  - ・特に断る理由がなかったから
  - ・自分の住んでいる町を良くしようとするきっかけになればいいと思った
  - ・お父さんに勧められて
  - ・人脈が広がるかと思い参加した
  - ・どんなものか知りたかった
  - ・日程が合い、参加したいと思った
  - ・どのようなものか見てみたかった
  - ・交友関係が広がると思ったから
  - ・いろいろな年代の人と話ができて楽しそうだったから

(質問 2-1) 市民討議会の時間的な長さはいかがでしたか。

- |   |             |     |
|---|-------------|-----|
| 1 | 長い……………     | 4名  |
| 2 | ちょうど良い…………… | 31名 |
| 3 | 短い……………     | 0名  |

(質問 2-2) 「長い」あるいは「短い」とお答えになった方におたずねします。  
 ちょうど良い時間はどのくらいでしょうか。

( )時間くらい。

2時間…………… 4名

3時間…………… 2名

4時間…………… 1名

(質問 2-3) 市民討議会を開催する曜日と時間帯についてはいかがでしたか。

曜日について …… 1 週末が良い…………… 22名

2 平日が良い…………… 1名

3 どちらでも良い…………… 12名

時間帯について …… 1 日中が良い…………… 24名

2 夜が良い…………… 1名

3 どちらでも良い…………… 9名

(質問 3) 市民討議会の報酬の額についてはいかがでしたか。

1 ちょうど良い…………… 27名

2 ちょうど良い額だと思わない…………… 2名

適切な額は(5,000)円…………… 1名

無回答…………… 1名

3 報酬は必要ない…………… 2名

4 現金以外の報酬にすべきである…………… 4名

具体的に …… 金 券…………… 1名

立佞武多の館入場券など…………… 1名

市の特産品…………… 1名

無回答…………… 1名

(質問 4-1) 市民討議会の小テーマは、討議を進める上で適切でしたか。

- 1 適切だった…………… 34名
- 2 適切ではなかった…………… 1名

(質問 4-2) 「適切ではなかった」とお答えになった方は理由をお書きください。

理由…………… テーマが大きすぎる

(質問 5) 討議グループについて、1グループの人数はいかがでしたか。

- 1 多い…………… 1名
- 2 ちょうど良い…………… 34名
- 3 少ない…………… 0名

(質問 6) 討議では自分の意見をきちんと言うことができましたか。

- 1 言えた…………… 21名
- 2 まあまあ言えた…………… 12名
- 3 ほとんど言えなかった…………… 2名

(質問 7) 参加されての充実感をお尋ねいたします。

- 1 充実していた…………… 33名
- 2 充実していなかった…………… 1名
- 3 どちらでもない…………… 1名

(質問 8) 討議していく中で、「五所川原市」に関する考えに変化はありましたか。

- 1 自分の考えが参加前とくらべて大きく変わった…………… 14名
- 2 どちらかというと変わった…………… 13名
- 3 どちらかというと変わらなかった…………… 4名
- 4 自分の考えに変化はまったく起きなかった…………… 3名

(質問 9) 討議を通して、五所川原市の問題点や今後につながるアイデアが明らかになったと思われますか。

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| 1 思う……………           | 25名 |
| 2 どちらかというと思う……………   | 9名  |
| 3 どちらかというと思わない…………… | 0名  |
| 4 思わない……………         | 1名  |

(質問 10-1) これまでに「住民懇談会」などの市が主催する集まりに参加したことはありますか。

- |           |     |
|-----------|-----|
| 1 ある…………… | 6名  |
| 2 ない…………… | 29名 |

(質問 10-2) 市民討議会にかぎらず、このような市民参加型の事業にまた参加したいですか。

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 1 参加したい……………       | 19名 |
| 2 都合が付けば参加したい…………… | 16名 |
| 3 参加したくない……………     | 0名  |

(質問 11) 実際に市民討議会に参加されてみて、どうでしたか？なんでも結構ですので感想をお書きください。

- ・いろいろなアイデアが出て良かった
- ・いろいろなアイデアがあり参考になった
- ・たくさんの年代の意見が聞けていい勉強になった
- ・地元の残りたいと思った
- ・様々な年齢層、業種の方と話す機会があって、多面的に五所川原を知り見直すいい機会であった
- ・意外と若い方も参加されていてびっくりした。とても良いことだと思った
- ・年齢層が広くていろんな意見があってよかった

- いろんな意見が聞けてためになった
- 最初にアイスブレイク的な何かを行ったほうが良いと思った
- 意識が変わった
- もう少し掘り下げての話し合いをする機会があればいい
- 自分では出てこない意見が大人の人からたくさん出てきてすごく勉強になった
- 静かに進むかと思ったが、意外と意見がたくさん出てにぎやかで良かった
- Eチームだったが、人に恵まれた。有意義な時間だった
- 年齢問わずの意見が聞け面白かった
- 充実した話し合いができた
- 勉強になった
- いろいろな意見が聞けてとても参考になった
- 長年住んでいるのに、こんなに五所川原市のことを考えたことはなく、目が覚めるような意見がたくさんあり、人間はいいなと再度思い、もっと自分の街を愛していかなければならないと感じた1日だった
- いろんな人の意見が聞けて良かった
- いろいろな年代や職業の方と話ができて良かった
- 若い人の参加があるのにビックリした。若い人のアイディアには感激した。若い人も五所川原のことを良く考えていると思い、勉強になった
- 楽しかった
- 良い
- たくさんの人の意見が聞けて良かった
- すぐ仲間になれた感があっていいと思う
- 良かった
- 五所川原市のことを深く考えれて良かった
- 討議会は最高です。今後も参加したい。プロジェクト班の作成、計画、フィードバックの実施、時間が足りない。半日くらいで実施を希望

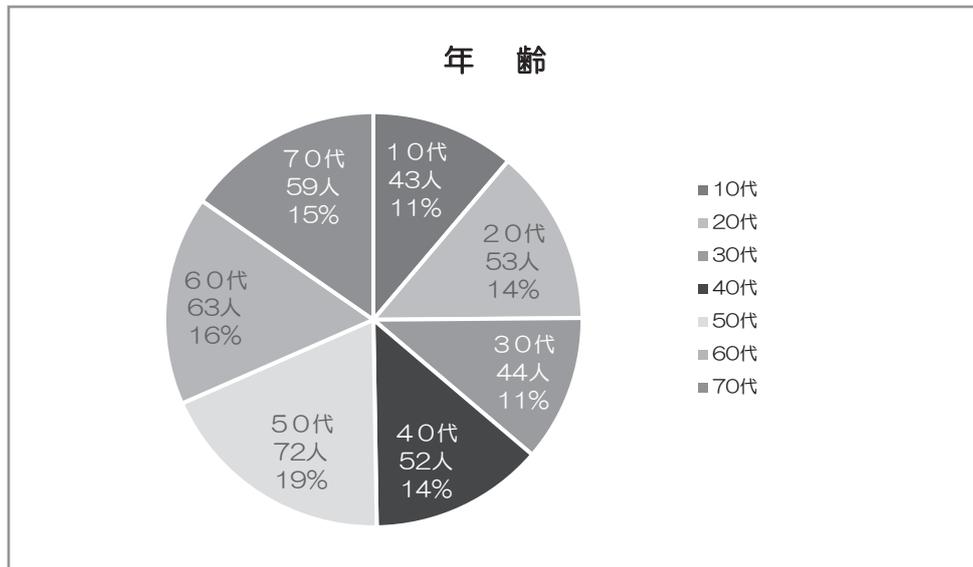
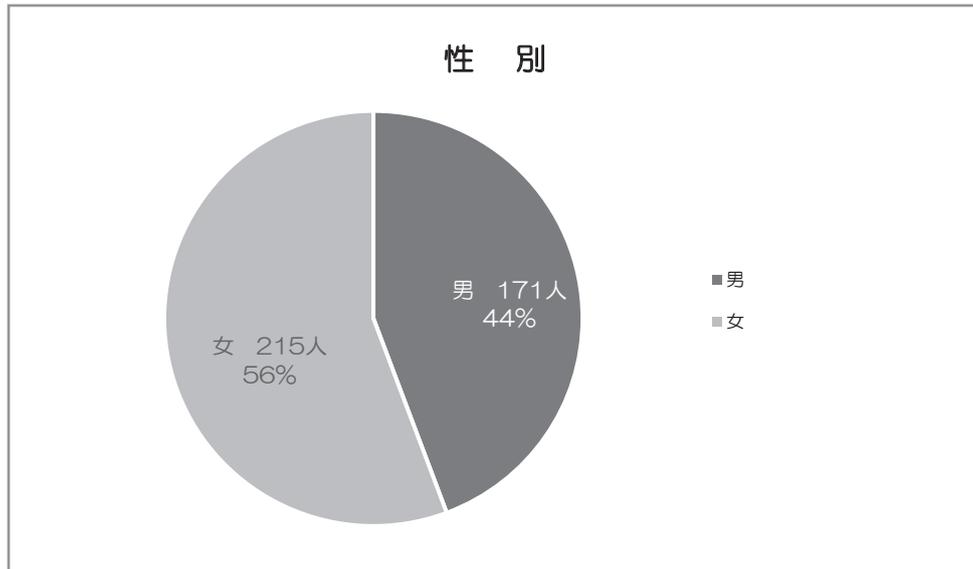
その他、今回の市民討議会に対するご意見やご要望がございましたら、以下にお書き下さい。

- 会場がすごく寒かった
- 費用がかかる内容も議論したかった（市の予算捻出も含めた）
- 何か一つでも実現されればよい
- 少しでも盛り上がっていけばよい
- もっとやってほしい
- 今後はこれらチームで話し合った事を良く討議してみんなで考えて、協議して検討し、シミュレーションを行い、階段を踏み外さないように多くの方々と議論して行事の実行を確実に進める。郷土の繁栄と誇りを持ち、うるおい有る街づくり。若者の人口流出に歯止めをかける。

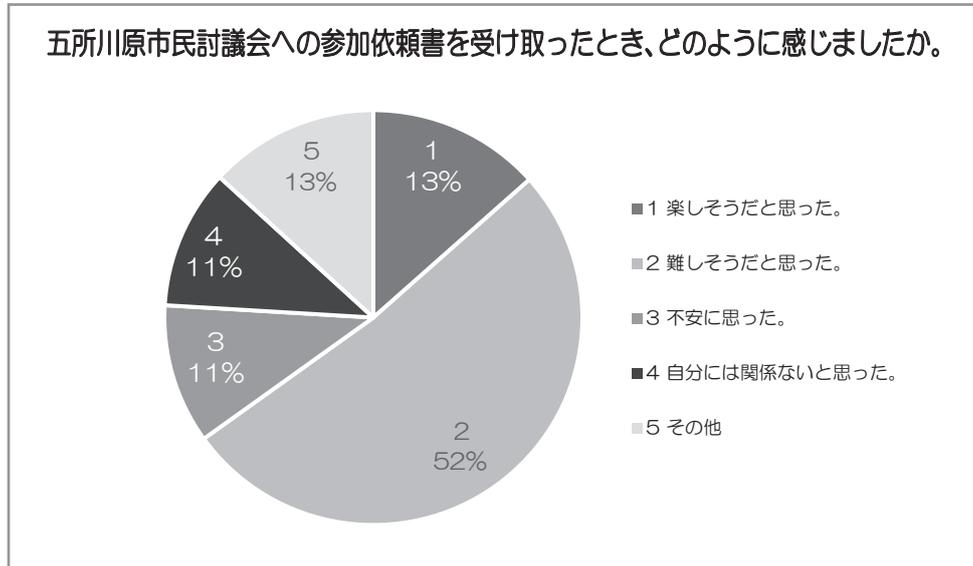
## ご参加いただけない方へ対するアンケート結果

386人回答 / 1,500人発送に対して

### 1 あなた自身について



## 2 五所川原市民討議会への参加依頼書を受け取ったとき、どのように感じましたか。



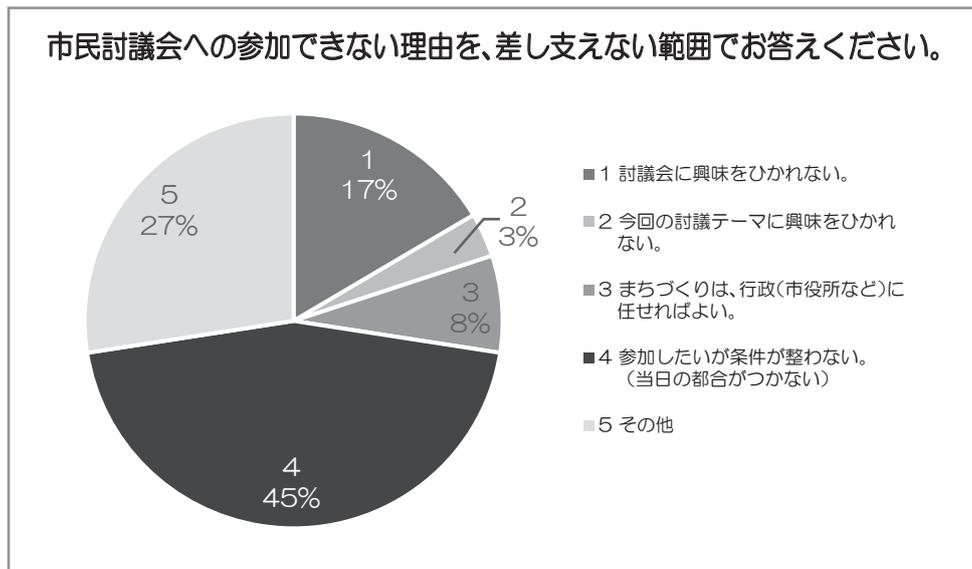
### その他の意見

- 特に感じなかった。
- 一市民なのに、嬉しく思いました。
- 怪しいと思いました。
- 色々勉強になると思った。
- 意味があるのかどうか。
- 有意義だと思った。
- 不幸が出来ましたので、その気になれません。
- めんどくさく思いました。
- 意義のあることへの参加はいいと思っ。
- 年齢的に難しいのかな？と思っ。
- 出来れば出席したかった。
- 体調不良
- 良い事を始めると思っ。
- 大事な案件だと思っ。
- 不在なので参加できず残念に思っ。
- 残念ながら、留守中ですので。
- 何の為か分からない。
- 昨年も送付されてきた。
- びっくりした。
- 市民の声を届けるチャンスだと思っ。
- 意見を述べる絶好の機会と感じた。
- 文章の内容が理解できません。
- 市民討議会に興味を持ちました。

- 引越して間もないので良い意見、参考になる意見が出来ないと思った。
- 自分に関係あるが、特に何も感じなかった。
- 1人で参加する事に不安を感じた。
- 仕事が忙しいのでとても参加できない。
- 大変よいことを始めたと思った。
- びっくりした。
- よく分からないものが来た。
- この様な取組がある事を知っただけでも良かった。
- 参加しようと思ったが、土曜日仕事で参加できない。

### 3 市民討議会への参加できない理由を、差し支えない範囲でお答えください。

(複数回答可)



#### その他の意見

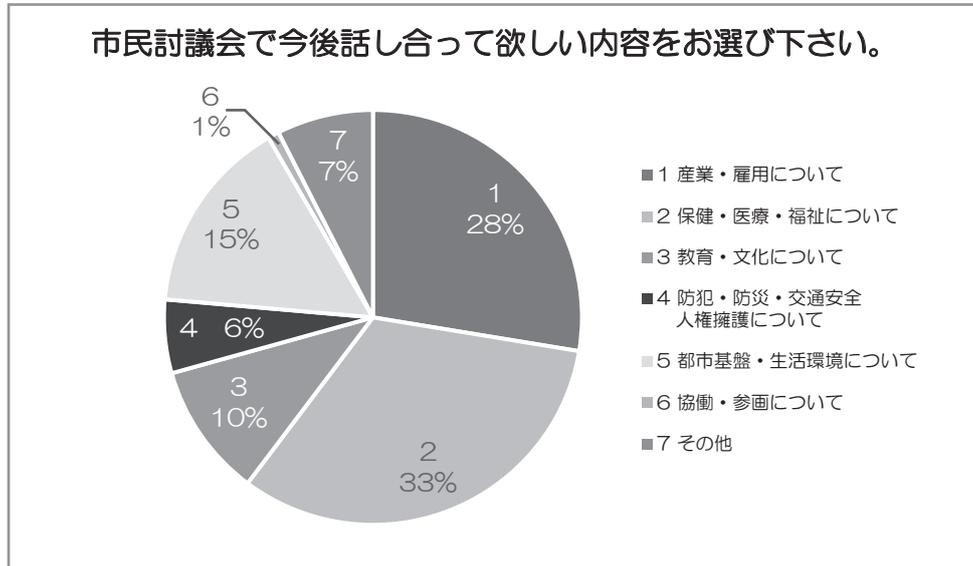
- 新しい就職先を見つけたばかりなので。
- 都合が悪く参加出来ない。
- とても市民討議会に参加できる器ではない。
- 事故後遺症にて通院中の為(残念です)
- 難聴等、体調が悪い
- 神奈川県にて就業中の為
- 夫の介護がある
- 未来の事は若い人達に任せたい。
- 今、地元にいらないので。
- 謝礼を払うお金があるなら、市の至る所にお金を掛けるところがある。

- 自分にはむずかしいと思います。
- 意見を伝えても、行政は何もうごいてくれないと思う。
- 仕事上、土曜日は難しかった。
- 市内に、いないので、出席できない。
- 当日、五所川原市にいない。
- 本人は大学進学途中で出席できません。
- まだ高校を卒業したばかりで難しいから。
- 都合が悪く参加出来ない他に、時間的に長すぎると思う。
- 興味があるが、テーマが大まかすぎて難しい。もう少しかみくだいて…
- 仕事
- 子供のクラブ活動
- 0才の子どもがいるため
- 仕事の都合がつかない。
- 大学在学中のため、当日の都合がつかない。（県外）
- 大学（県外）在学中であり、当日の都合がつかない。
- 仕事です。
- 自分の病気のことではいっばいだから!!
- 私は人前で話するのが苦手なので。
- 医師から自宅で安静にしているように指導を受けている。
- 仕事を休めない。
- 参加してみたい気もありましたが当日、他の予定もありましたので。
- 人前で意見を話すのが苦手
- 体調が思わしくない。
- 体調不良
- 今までに1度も何につけ（町内会など）市民参加をした事はありません。
- 病気のため
- 工作中なので
- 仕事の為
- 休みがなく、参加できない。
- 寝たきりで介護を受けている立場でどうやって参加すればいいのでしょうか。
- 病気療養中のため
- 仕事がある。
- 総合病院二内循環器へ通院のため
- 仕事を休める状態ではない。
- 腰痛・膝通の為に歩行が困難。
- 仕事で都合がつかない。
- 仕事で当日の都合がつかない。
- 病気のため

- 自分はそういう会に参加するのはふさわしくないと考えた。
- 内科、整形外科、皮膚科等、病院通いが多い。
- 仕事のため。
- 仕事のため。
- 仕事上で参加できなければ、興味もわかない！
- 関東の大学なので当日は授業があります。
- 討議しても行政が変わるとは思えない。意味があるのか分からない。
- 仙台市に学生で住んでいるので。
- 仕事の為。
- 現住所はあるが、埼玉大に通学のため埼玉在住。
- 仕事
- 何も言えないと思ったから。
- 話題づくりにしか感じない。
- 単身赴任中の為。
- 仕事の為。休みは（日）だけ。
- 子供の野球の試合があるため。
- 私には難解そのもの。
- 出張中の為。
- 仕事の都合で（転勤）
- 子供の行事がある日だから。
- 以前から市民討議会のことについて知っていましたが、市民の意見がどのように市政に反映されてきたのか？全く見えていない。開催することが目的のように思えるため参加しません。
- 他の会合に出席のため参加出来ません。
- 体調不良につき。
- 他公共団体の職員だから。
- 体調不良。
- 討議会が苦手だから。
- 農作業で忙しいから。
- 子育てで忙しい。
- すごく忙しくて他の事を考える余裕がない。 自分の性格に合わない。  
（意見をのべる事）
- 他人と話し合う自信がない。
- 体調が悪く、病院へ月1・2回行って、自動車も乗る事が不能。
- 仕事の為。
- 札幌市に単身赴任中。
- 当日仕事があるため。
- 私事。

- 人前で話すのが苦手及び緊張してしまう。
- 無作為抽出して少数の意見は、意味が無い。ムダ使い。飾りだけのパフォーマンスはやめて下さい。私達の税金を大事に、意味ある使い方をして下さい。
- 農作業のため。
- 県外大学へ進学しているため。
- 土・日は仕事がある。
- 初対面の人と意見を出し合うのは難しい。
- 通院
- 単身赴任で当日都合がつかない為。
- 産後で育児中の為。
- 出産したばかりなので。
- 研修会とかちあう。
- 休みを確保できるかわからない。
- 引越しして来てまだ五所川原市をはっきり知らないのです。
- 無能な自分にはとても荷が重くて参加できません。
- 耳が聞こえなくて、補聴器を使ってもあまりよくないのでみなさんにご迷惑をかけるためだから。
- 体調がよくない。
- 学生なので他にやらなければならない事がある。
- 就職活動のため、当日は市内にいない。
- 仕事。
- 近々他市へ引越し予定のため。
- 討議がにがて。
- 仕事があるため。

#### 4 市民討議会で今後話し合っ欲しい内容をお選び下さい。



#### その他の意見

- 一通り…
- つがる総合病院の看護師の患者に対する言葉づかいが良くありませんね。
- 子供及び高齢者の住みやすい環境作り
- 除雪費用軽減の為、各町内と行政が連携。
- 医療。夜間・急患への対応の見直し。
- 街づくりについて。
- 悪路だから道路設備について
- 市の財政について
- JR五能線、田町郵便局近くの遮断機による交通麻痺の解消。
- よくわからない。
- 市の観光について。立佞武多・虫送り火祭りについてなど。
- 生活に困っている方への福祉について話し合っほしい。
- テレビの認知症を見るたび心配します。

5 問4について具体的に話し合ってみたいテーマがございましたら記載してください。

- 農家に優しい町づくり。
- 福祉について。
- 有給休暇をとるよう、各事業所に言ってほしい。
- 個人病院が少ない。良心的な医師が少ない。
- 空屋・空店舗の活用。老人や子供達の為に使えないか。
- 何でもないような年配の方が優先され、本当に具合の悪い方が中々診て貰えない。  
（特に子供など）救急車で運ばれてきた人が優先されているが、しっかり症状を見極めて診る順番を決めて欲しい。今のままだと、救急車を呼んだもん勝ち。病院側がこのような事を言うのは、さすがにおかしいと思う。このテーマで討議会をやるなら、喜んで参加したい。（関係者を交えて）
- 子育て支援の充実。
- 生活環境について。
- 子育てへの充実、五所川原は賃金が安すぎる。（働く）
- 駅前、中心街の魅力の無さ、一体感のなさ。
- 治安について。
- 働ける場が少ない。（特に市浦地区）
- 1人暮らしの老人が孤独にならず地域やボランティアが協力できないのか？
- 介護認定されなくても気軽にリハビリができる場所があればありがたいと思う。
- 自分の土地に飾ってある物が10点以上もなくなりました。早朝や深夜などの見廻りの必要性。
- 五所川原には就職先がない。
- リスクの多い道路作りより、未来の子供達の医療・教育支援した方が良いのでは？
- 6次産業化をどう進めるか。
- ここに文書で書くことが出来ません。
- 子供の医療費について。
- 障害者の補助について。
- 子供達の教育方法。
- 駅通り。
- 新聞・テレビニュースなどで、治安が乱れております。この問題を考えてほしい。
- 誘致企業。
- 介護について。
- 空家の草の清掃をしっかりとってほしい。

- 今後の街作りの方向性。
- 産業・雇用について。
- 他の市、町、村も同じだが、雇用が多ければ、子供達も他県から呼びもどせるのが、基本である。
- 五所川原市で生まれ、五所川原市で子供を産み、五所川原市で老後を過ごす
- 介護について!! 施設や家族として、地域住民としてのかかわり方。
- 幼児及び家庭教育の大切さ、基本的生活習慣を!
- 短命県と騒がれている青森県を長寿県にする方法。
- 自分達が老後、ちゃんと年金は受け取れるのか?
- 内容が大きすぎて、絞れない。
- 五所川原市内での就職。(職種や年齢層の拡大)
- 歩道駐車(通学路)
- 五所川原市は働く場所が少ない為雇用について。
- 高齢化社会をどうのりきるか。
- 若者の雇用について
- 上記の件は身近に日常必要事項である。討論してもらいたい。
- いろいろ。
- 一回避難訓練してもらいたい。
- 年齢が70才こえると収入が少なくなって、医療費が大変です。
- 若い人が働いても、すぐ辞めてしまう現状を打破。
- 子供や学生の人口を増やす手段について・公園の整備。(空き地の活用・除草など)
- 大変でしょうが係員が家へ来て会って話をしたい。
- 人口減少対策を具体的に。(五所川原市の将来の在り方)
- 救急医療について。
- 仕事をしたいが、雇用条件があわないため、仕事ができない。能力があるのにできないのは残念です。その方にあわせて雇用条件が変える事ができたら、嬉しく思います。(ふるさとで仕事ができる将来)
- 障害者の保護について。生活保護について。
- 道路(歩道)標識(案内板)の整備。
- 『仕事の無い若者について』『空家について』『人口減少について』
- 工業団地の普及・発展・雇用の促進。
- 自然環境について。
- 娯楽施設を増やす事。(駅前・大町・本町通りなど)
- いろいろありすぎてテーマは決められません。

- 病院前の車（違法）駐車や駐車場が少ない事が今後不安。
- 6次産業化の政策、ITを使った事業、人口の定住化につながる政策。
- セキのない町、ドブセキはいらない。
- 他の市町村では医療費が何才まで無料とかあるのに、五所川原市は無いのはなぜ？
- 子どもの医療費を小学校6年まで無料にしてほしい。
- 高齢化に伴い市で助けてやれる事等。
- 子育て世帯に強い地域になるには、何が必要か。
- 無料駐車場。
- 今これから進路を考えるにあたって一番気になる事です。
- 安定した雇用・収入を得る為には更なる企業誘致が必要かと思うが具体的にどのような取組を行うべきか。
- 雇用場所の確保、企業の誘致など。
- つがる総合病院の混雑原因。
- 高齢問題、県内就職、県内の食育について。
- 融雪溝の拡大について。
- 老人福祉について話し合っ欲しい。

---

## 6 自由意見（ご意見等があれば記入してください）

- 抽選漏れのことを考えてアンケートを同封しました。
- 県外から嫁いでまいりましたが、まだまだ他には追いつかない様ですね。福祉の方、宜しくお願い致します。
- 諸々の問題を取り上げて、将来を見すえて継続してほしい。
- フルタイムで仕事をしているので、市役所や銀行等に平日に行けないので、土日も開設して頂きたい。特に市役所では、期日が短く直接足を運ばなければならない手続きの書類が届くが、出向く事が困難です。土日も受付してほしい。休みが取れなければどうしたらいいですか？
- 参加した事がないが、もう少し気軽な形で数回開催できないものか。広報のみならず、討議会の様子を発信して欲しい。もっと身近に思える工夫が必要。
- 今回、こちらの通知をうけ、はじめて討議会があることを知りました。まちづくりに対して考えたこともなかったので今回のことを機にいろいろ考えることができました。

- 地域にパチンコが多すぎる。宣伝カーも本当にうるさい。子供が昼寝をしても起きてしまう。子育てしている身としては、不健康な施設は排除して欲しい。とても安心して子育てできる環境とは言えない。せめて新規参入だけでも規制を。もちろん全面撤退が望ましい。また、駅周辺（特に郵便局や外崎タクシー付近）の歩道が劣悪すぎる。不便なのはもちろん観光客の方にも失礼だし、市民としてインフラが整っていない様で恥ずかしい。
- 再開発の大町は、どうにかならないか。津波の後のように感じるのは自分だけか？
- エルムなど郊外型ばかりで、駅のまわりなど活気がないように感じる。町づくりなどを考えてほしい。
- ・ 中学までの医療費無償化になってほしい。
  - ・ アルバイト、正社員の給料が他の市町村より基準が安すぎる
- 夜の五所川原、飲み屋街、エルム、ジャスコ、コンビニ等の駐車場などに、若者がたむろして、怖くて用事があっても行けない時などがあるので、もっと考え、パトロールなどしてほしい。
- 地元、診療所では、受診した事を他人に話したりする人がいます。そのため、他の医療機関を利用する人も多く、せっかく地元にあるのに残念に思います。市の職員が他人に個人情報をもたらすのは問題だと思います。先日、話した住民の人はその事を診療所に言ったそうですが何も効果がないそうです。
- 謝礼の意味がわかりません。お金をだせば、人が集まるとでも思っているかのように感じて不快です。交通費なら、交通費とかいた方がいいのでは…？謝礼も税金からでているのでしょうか。
- 走れメロスマラソンにかかわる方々の仕事・エピソードなど広報とかにのせたらどうでしょうか。
- 東京都の大学に在学中。去年も抽出されましたが、不参加。（参加は無理）来年も抽出ならと思い、家族が代筆で申し上げます。来年は抽出ならないよう、除外してください。他の人1人を抽出したほうがいいと思います。
- 税金を大切に使用してほしい。
- 役所の仕事をしたい若者。民間の仕事を探す若者。本当に仕事がありません。
- 御近所の思いやりの欠如、相手の立場に立って、物事を考えてみるなどの思いやりの欠如がストレスとなり、最近住みにくくなりました。各町内のアンケートなどの調査が必要であると考えます。
- 今後、結婚して子育てをしながら、仕事をしたいと思っているので、働きやすい環境作りや、子供を産みやすいサービス等が充実してくれると、助かります。今後も住みやすくなるような五所川原になってくれるように願っています。
- 意味深い討議を期待しております。

- 今年、就職したのですが休みがちょっと少なく、週休2日制なのですがその休み（土日。土曜日が有休扱いになる）は有休を使っただけの休みになるので1年目の自分には金銭的に大変です。それに7・8月はそれがなくなるということなので、週休2日制になっていないと思います。給料も25日支払いなのに今月は27に来ました。独身の人は大丈夫ですが家庭のある人は、大変だと思います。ここでとやかく言っても始まりませんが、せめて週休2日制と支払日を厳守する何かしらの対策をしてほしいです。お願いします。
- 教育・文化についてです。小学生、中学生、高校生のいじめ問題などに、どうしたら良いかアンケートなど、提出して見てはどうでしょうか。
- 無作為抽出は分かりますが、中には介護をされている立場、認知症を患う方もいるかと思えます。その方への配慮は無いものでしょうか。体が不自由なだけで頭は特にはっきりしているもので少しこの手紙にイラつきました。（身内代筆）
- 市民討議会を今後とも続けて下さい。冬期間の除雪において、片側2車線が確保されないため、渋滞が起こることが多い。（特に交差点の所）
- 中年の人にも雇用の出来る会社を作ってもらいたい。
- 先にたつ人達の私利私欲ではなく、市民全体を考えたものにしてほしい。つがる総合病院をもっと前向きに活用できるしくみづくりを考えていただきたい。
- 子どもをもつ親が仕事しやすいような、環境作り。  
例えば、病気になって会社を休まなければいけないとき、自由に（気がねなく休める）休みをとれるとか子どもの行事に休みが他の人とダブる日もちゃんと休みをくれるなど、未来を作る子どもを大切にと思うなら、あってもよいのではと考えることがある。  
そうすると雇用もふえるのでは。はらたく側もえらばなくてもすむかな？  
あいまいな考えかもしれないが、その時間（仕事可能な）きっちり働いてもらって、その他は独身の方がフォローするような工夫したり、土・日の仕事はそういう方に多く助けてもらうなどしているようなのがいいなあ。子どもが小さいうちはそうして欲しい。環境の整った仕事が多いと人があつまり産業も発展する？
- オルテンシアでどんどん催物などを開催して催物ほしい。（タレント・歌手・ミュージカル・バラエティーなど）
- 津軽には娯楽施設が少ないので、産業・雇用のためにも企業を誘致して、そういう施設を作ってはどうか？（例）津軽ハワイアンセンター
- 返送期限をすぎてしまいすみません。無作為抽出で選出とありますが、今年、市から3つきているのですが、本当に無作為でしょうか？
- 晩婚化の解消するためには？子育てしながら働ける街づくり。観光客が来る街づくり。お年寄りが安心して暮らせるには？
- 地域の交流が減っている。地域の人的活性化が必要。子育ても地域でできるような活動や、子どもと老人の交流など、地域づくりが大切です。人口減少が不安です。

- 広報等でPRしているのかもしれませんが、このような討議会があること、はじめて知りました。自分に通知書が来たことであらためて、広報を読み返し、主旨がわかりました。参加をしたい気持ちもありますが、今回のテーマはむずかしいと思いました。もう少し身近なテーマで討議会を開催できないのでしょうか？若い人たちにも興味のあるテーマ（雇用問題等）もよいのではないのでしょうか？謝礼の¥3,000は、いかがなものでしょうか？税金は大切に使って下さい。汗まみれになって納めた税金です。
- 市民討議会に参加し意見を言ったにしろ、私達市民の意見は大部分の所で取り上げられず反映されるとは思わない。
- 本人が（大学生）東京在住で不在の為欠席です。よろしくお願い致します。（母代筆）
- 五所川原市の今後をもっと細かく、具体的なテーマで討議するための方法等の考え方が必要であると思う。あまりにも、大きなテーマで参加しにくい。五所川原市をどうしたいのか？方向性が、分からない？
- 市内での就職を希望していますが、職がありません。若い人から高齢の方が働ける場を増やして頂きたいです。それこそ、エルム内やシルバーなどのパートや短期バイトでなく、病院、学校e t cなどの施設等での職を増やしていけば五所川原市の方が青森市・弘前市まで行かずとも、住みやすい市としていけると思います。
- 広報ごしよがわらを見て立佞武多や地域の一部行事等に対する補助金についてほんとうに高額な金額が税金からでていることに疑問を持っています。又広報紙も市民に配布しているが印刷代等どうなのか？（各種広報紙も）他のことも検討すべきではないか？（お知らせ方法）市会議員数ももっと少なくていい。税金の使いすぎ、市民の生活を考えるべきである。
- 「明るく、住みよい豊かなまち」になるわけがない。まともに働いても、普通に暮らせない。すべてあきらめています。むだな金は使わないで下さい。
- 町のシャッター通りをもっと産業に生かしてほしい。
- 金木町トレーニングセンターの再建を希望します。
- 若い人にとって魅力のある市を作って欲しい。何か力になることがあれば、参加していきたい。
- ・謝礼なしでやってみたらどうですか  
・市職員が自分の仕事をもっと勉強し、真面目にやれば五所川原はよくなると思う。西北五で最低だ!!
- 自分は現在、東京の大学に在学中ですが、卒業後雇用があれば、青森に帰っても良いと思っています。しかし、現実問題、皆無に等しいのが実情です。（※母が代筆しております）
- 老若男女問わず明るく元気な町づくりを、願っております。
- 学生で他県におりますので参加できません。
- 市民の意見を聞くのも大切ですが、祭り期間とかに来る、他県の人意見も聞いてみてもいいと思う。

- 問い3の答えについて、討議会での意見をまとめて市の方に届けているようですが、市では数年間にあった市民の意見を行政に反映し、具体的に変わった点（良くなった点など）を広報やメディアを通して、市民に告知してほしいと思います。何も変わらないのであれば無意味だと感じるのです。
- 市民全体が明るく住みよい、活力で、元気な笑顔、豊かな街、発展を望む。
- 短期的な対応ばかりのような気がします。10年後20年後を見すえ、人材育成が大切ではないか。そして、人材育成は義務教育からが大事。大人になってからの人材育成は遅い。もっと教育にお金を使うべき!!
- 少数討論では無く、全世帯の意見をきくべきではないでしょうか。
- 街中心部はシャッターロード。農村部は後継者不足。老人の一人暮らし。空家の増加。雇用、産業の低下著しい。ただじっと社会の春を待って耐えているような状況。この先どうしたらよいか途方にくれている人々。
- 防災無線放送のとき「キンコンカン」は聞こえるが、内容は風に流されるのかどうか全然聞こえない。イライラする。
- 「たばこは五所川原で買しましょう」という看板を撤去してほしい。（健康推進に矛盾）
  - ・ 短大や専門学校等を首都圏から誘致し、地元の子供の進学（学習意欲向上）、他県からの移住、若年層の人口増加等を目指したらどうか。
  - ・ 空き地を利用した公園の設置、既存の公園の整備を徹底して欲しい。特に既存の公園においては除草や除雪がなされておらず、未就学児を遊ばせることができない。シルバーセンター等でボランティアを募ってできることだと思う。
 ※高齢者のサポートも大切だが、これからの五所川原を担う子供たちを市を挙げて育てることが大切だと思う。
- 私の孫について心配な所があります。食が細くて、朝からたくさん食べられず、いつもお腹が減っているのではないかと心配しています。保育園、職場でも、午前中のおやつのある所もあるので、小学校でも午前中のおやつのある時間を設けて、朝のボーとした感じをなくしたら良いと思います。
- 観光客を呼び込むのか、企業誘致を目指すか、現在の五所川原市の将来がイメージできない。五農の技術を活かして農業を活性化させる等、メインテーマが必要ではないでしょうか。
- 私は、80歳以上の親（義母）と生活しています。行動範囲がせまくなってきているため、五所川原市民で良かったと思えるイベントを増やしてほしいです。
- 生活保護について、親がもらっていれば、子は働けるのに、働くことをあきらめ、親と同じ道を進むと思います。その方達よりも、もっと苦しんでいる人達を助けた方が、まだ良いかと思えます。働くべき人が働かず平気で暮らし、明日、生きれない人を助けるべきではないでしょうか。不の連鎖を断ち切るべきです。
- これまで箱物とその維持にお金をかけてきたと思うが、これからは県or地域全体を考えて峻別していくべきと思う。市税はできるだけ全体の市民に役立つものに使うべきだと思う。道路等インフラの整備、また0歳～成人になるまではできるだけ平等な状態で送れるようにしてほしいと思う。市の施設の利用率・戸籍等の手数料は高すぎると思う。

- こんな事をする前に市民全員にアンケート取って行政の方々が考えれば良い。職務怠慢に値する事だと思う。
- 無作為抽出による選出はどうかと思いました。もっと積極的に参加者希望を訴えればよいのではないかと…少し納得いきませんでした。
- 身の廻りから、メダカが消えて大分たちましたが、ホタルの数も段々少なくなってきました。私は自然大好き人間なので寂しい気がします。生活環境、自然環境をもっと大切にするよう、話し合ってほしいです。
- 青森は野焼きがひどく、子どもと散歩に行けない。子どもと遊べる公園がどこにあるのかわからない。近隣の市町村などは保育料や子どもの医療費がかからないのに、五所川原はどうなのか。子どもを持つ親にとって五所川原に住むメリットが見つからない。
- 良い街を作って下さい。
- 年を取ると、細かい字を読む事が難しいので、大きめで解り易い文章にしてほしいです。(〇×式もうれしい)
- 初めてだったので1人で参加する自信がありません。知り合いと参加できるような参加のしかたもあってもいいのではと思います。
- 五所川原市の明るい未来の為にがんばって下さい。
- 市民の意見が反映されてるかが疑問です。
- 町なかの整備をもっと進めて下さい。きれいな町は人も集まる。今後がんばってもらえればいいなあと素直に思う。(細長い町の展望?)
- ・住民税が高い。
  - 議員の人数が多い。
  - 無駄話しの多い職員。
  - 安心して生活出来る五所川原市を!!
- 税金・保育料など、もう少し安くしてほしい。
- 皆様方におまかせします。ごめんなさい。
- また機会があったら、次は参加してみたいです。
- 市民参加の企画はとても良いと思いました。これからも続けてほしいです。
- 一ツ谷地区の道路は雨が降ると車道からの水はねがひどい。100円ショップの交差点の道路は広いのですが駅方面に繋げる予定はないのでしょうか。
- 考え方、見方の角度をかえたり、視点をかえたりすると、いいアイデアが生まれてくると思う。短期にまとめようとせず腰をすえて、長期的に取り組もうとすると、どうかな。
- 五所川原市総合計画重点プロジェクトとは何か。  
H27~H36までの10年間の市政運営、まちづくりにおいて重点的に取り組むプロジェクト。ということでしょうか。  
昨年までの計画はどういった結果に終わったのかが気になります。  
今回のプロジェクト及び計画の概要や昨年までの活動資料が同封されていれば良かったと思います。

- 農業の方にも若い人達が魅力を感じてもらえるような御意見を頂きながら活気づけて欲しいです。
- 五所川原市にサッカー場があってサッカークラブがあったらいいなと思います。サッカー観戦してみたいです。
- 若者の雇用場所がないため、出稼ぎで生計を立てているため、若者がいない。もっと雇用場所がほしい。国が進める、高齢者の移住提言に名乗りを上げてほしい。それにともなって世話をする若者が増えるのでは、ないか。
- 五所川原市における議会について、一部の議員しか意見を言わないが、考えがないなら定数を削減すべき、また、平均年齢が高すぎてあると思う。
- (要望) 喫煙がガンの主因といわれて久しいが、日本一の短命県である青森、中でも当市を含む西北五地域は、県内でも喫煙率が高く、当然生活習慣病罹患率も上位、市広報紙等あらゆる機会を通して喫煙の害及び禁煙に関する啓発活動を展開していただきたい。

# 市民協働によるまちづくりへ



意見を出し合う参加者の皆さん。  
若者定住や観光客増加に必要なことを付せん  
に書きこみ、それぞれ分類。  
五所川原をより良くするために自分たちがで  
きる活動を討議結果としてまとめます。

## 市民討議会で10～70代が 世代を超えた討議を行う

7月11日、市民学習情報セン  
ターで市民討議会が開催されまし  
た。市民協働によるまちづくり  
を推進するため平成24年度から  
公益財団法人五所川原青年会議所  
と市の協働で実施しており、今年  
で4回目。無作為に抽出した1500  
名の市民へ参加案内書を送付し、  
参加を希望した54名から抽選で  
決定した35名が、「ともに語ろう、  
ふるさとの未来を」と五所川原市  
総合計画重点プロジェクトを考  
える」をテーマに意見を出し合  
いました。

五所川原市総合計画重点戦略の  
推進において若者の定住促進、交

流人口の増加、健康の増進の3つ  
が重要であること、その背景につ  
いての情報提供を受け、討議がス  
タート。5つのグループに分かれ  
①3つの重点戦略を達成する為  
に必要なことは？②①のアイデア  
を組み合わせてできる一体的な取組  
は？③私たちにできる取組は？の  
3段階で討議を行いました。さま  
ざまな立場から市民目線で議論し  
最後にグループごとに討議結果を  
発表しました(概要は下表参照)。

討議会全体のコーディネーター  
を務めた平井太郎前大学院地域  
社会研究科准教授は、「難しいテ  
ーマだったが、活発に意見を出し  
合い、まとめられた意見ははずれ  
も創意工夫にあふれたものになっ  
た。他地域に比べて若い参加者が  
多く、自身が誇れるまちづくりを  
市民一人ひとりが考え、行動に移  
していけるまちだと感じた。」と  
総括しました。

参加した皆さんから出されたま  
ちづくりに対するアイデアは、施  
策推進の上での参考とし、今後も  
市政への市民参画を推進してい  
きます。  
市民討議会についてのお問い合  
わせは、企画課(内線2154)ま  
で。

### 発表内容の概要

#### ○やってみよう！ドローンピック五所川原

運動会、収穫体験、料理教室、地吹雪体験等の田んぼを中心  
に据えたイベントを通年で行うことで、若者が集う場所の確保、交  
流人口増加、食の見直しなどを一体的に行う。

#### ○ふれあいクリーン作戦

街の清掃活動を通し、自分の住むまちへの愛着と誇りをもつて  
もらうことを目指す。幅広い世代の参加促進の仕組みを作るため  
参加回数に応じた商品券等の賞品を用意し、モチベーションアッ  
プを図る。

#### ○朝から楽しむ立佞武多

立佞武多の説明や出店、観光案内などの様々なイベントを行う  
ことで1日中の祭りにし、交流人口を増加させつつ、地元若者の  
積極的な立佞武多への参加促進を目指す。

#### ○サブカル in 五所川原

集客力のあるサブカルチャーを中心としたイベントを開催し、  
地元若者の積極的な参加と観光客の増加をねらう。立佞武多の館な  
どの五所川原にしかない景色を活かして更なる効果拡大を図る。

#### ○夢のテーマパークコンテスト

自然公園、道の駅、レストラン、宿泊施設等を一箇所にまとめ  
る夢のテーマパーク構想やアイデアをコンテスト形式で広く募  
集し、実現を目指す。

討議結果は、報告書としてとりまとめ、後日市長へ提出します。

## 講師(コーディネーター)プロフィール

氏名 (フリガナ)	平井 太郎 ヒライタロウ	
生年月日(年齢)	昭和 51年 5月14日 ( 39歳)	
勤務先	弘前大学大学院地域社会研究科	
家族	妻	
住所	〒036-8184 青森県弘前市松森町141 A-201	
TEL・FAX email	TEL 090-4415-3537 (勤務先) FAX 0172-39-3210 メールアドレス: of-hirai@nifty.com	
専門など	社会学	
経歴・職歴	西暦	
	2000年	東京大学教養学部教養学科卒業
	2003年	特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 副理事長(現職)
	2008年	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)取得 日本女子大学人間社会学部学術研究員
	2010年	小田原市・国見町 歴史まちづくり協議会 委員(現職)
	2012年	弘前大学大学院地域社会研究科 准教授(現職)
	2012年	総務省地域力創造アドバイザー(現職)
	2012年	国土交通省集落地域における小さな拠点形成推進に関する検討会委員(現職)
	2012年	青森県つがる西北五活性化協議会委員(現職)

# MEMO

平成27年度五所川原市民討議会 報告書

編集 平成27年度五所川原市民討議会実行委員会